

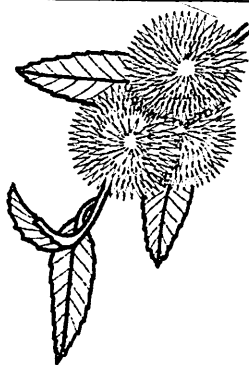
ひまわりからの メッセージ

77号

2017.10.16

NPO ひまわりの花内
西濃 園域
発達障がい支援センター

発行人: 中野にみ子



再 会

この夏、大垣市内の放課後等デイサービス事業所を全て訪問させていただきました。子どもたちの実態把握のためのアセスメントは、どうなっているのか、アセスメントにもとづく個別支援計画はどんなものか知れたかったからでした。

その折、ある事業所で「中野先生」と呼びかけてくれた女生徒がいました。すると、そばにいた男生徒も、「あっ、ひまわり!」と言うのです。呼びかけられて私もすぐ分かりました。幼顔が残っていたからです。でも、彼らに会うのは何年ぶりでしょう。もう十年以上も会っていないのです。しかしよく覚えていてくれたなあ嬉しくなりました。

以前にも、別の成人施設で同じようなことがありました。訪れた施設で、私のそばをずっと歩いて歩く人がいるのです。私よりはるかに背が高く、色白の青年です。表出言語のない人

したが、何となく傍に近づいてくれるのです。その人のことは後で聞くまで幼顔と結びつかなかったのですが、実は幼い頃に私の足に抱っこちゃん人形のようにくっついていたんだとわかりました。

私が子どもたちと関ったのは就学前のことと、それからずっと会っていないのに、子ども達には何となく、この人は見たことがある人だという記憶があるのでしょうか。不思議に思いましたがああ、そうかと気づきました。私は何十年も髪型が殆ど変わっていないのです。髪型が変わらないと、雰囲気も余り変わらないうということではないかと思っただけです。若い頃は、長い黒髪にジーンズというのがトレードマークでしたから……。

ところで今年、私は今まで以上に髪を伸ばしています。福祉課の方に「どうせ伸ばしているなら、ウィッグを作るのに協力して……」と頼まれたのです。「でも、白髪まじりなのにな?」と言うと、それも自然で良いとのことでした。癌を病む人のためのウィッグは、三十センチ以上必要とのこと、年を重ねて、さすがに髪の伸び方も遅くなっている私がお役に立つためには、もう少し時間がかかりそうです。

皺やしみの顔に長い髪は似つかわしいけれど、子どもたちの記憶にとどめておいてほしいから、しばらくは、このスタイルでいこうかな……と思ってもいるのです。



日本LD学会第二六回大会(栃木)に出席して

大人になって幸せになるために



連休にLD学会に出かけました。開催地は栃木県で、私は四十数年ぶりに訪れました。

大会のテーマは「発達障害の人の社会参加」で、「大人になって幸せになるために」と副題がつけられていました。大会会長の早稲田大学教授の梅永雄二先生は、次のような数字をあげて、社会に適応できにくい人たちについて、どのような課題があり、どのような支援が必要か、一緒に考えようと呼びかけられました。

中学卒業後すぐ就職 4,000人
中学卒業後就職も進学もない 8,700人

高校進学後退学 49,000人

その後就職した人の多くが
フリーターになっている。

※フリーターとは、「男性は学校卒業者、
女性は未婚の者のうちパート、アルバイトの者」と定義される。

フリーター 1,670,000人
(総務省, 2015年)

ニート(若年無業) 560,000人

引きこもり 696,000人

(内閣府, 2014年)



LDの子どもたちの読み、書きの問題や算数障害などの講演やシンポジウムもあり、富山大学の支援室の取り組みや高等学校の通級の取り組みなど、多くを学ばせてもらいましたが、今回は、就労に関することにふれてみます。

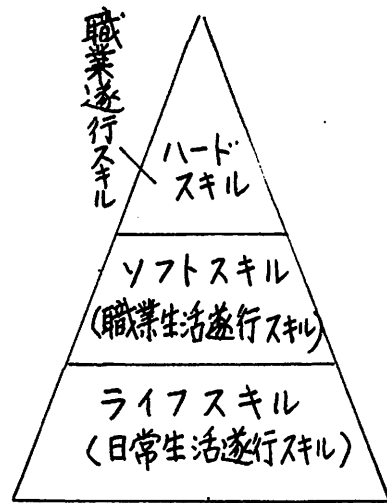
発表の中で、IQ70以下の人が一、二二〇万人で、実はこの人達の就労がうまくいかないという発言がありました。IQから考えると、平均よりも少し下から境界線というあたりに分布することになります。通常学級で学びながら、皆の中で同じスピードで学習していくには、本人も周囲も努力が必要ということになります。「何とか皆と一緒に……」「勉強……」と、保護者も思い、先生方も子どもたちのために必死に考えて下さるといのが実情でしょう。

ところが、大学を卒業したり、大学院までも修了したのに就職できない若者が多くいます。引きこもりの人の中には全く家を出ない人は二十三四千人もいるといわれます。ニートや引きこもりやフリーターの人たち全てが発達障害がいではありませんが、社会に適応できにくい人たちの中に、発達障害がいの人かなりの数、含まれていると考えられています。

では、何故、就職に結びついていかないのでしょうか？ 高学歴であっても就職できないのは、なぜでしょうか？ それは

ソフトスキルが身についていないからだと言われました。

ソフトスキルというのは、職業生活遂行スキルとも言われています。左の図を見て下さい。一番下のライフスキルは、食事、



排泄、着脱衣、睡眠、など、言ってみれば基本的な生活習慣といわれるもので、幼児期に獲得していけるように、正しいに、ある時は手を取りながら学ばせていきます。

ソフトスキルとは、例えば身だしなみであるとか、家事手伝いであるとか、時間やルールの理解、対人関係、金銭管理、体調管理などといった事が含まれます。ハードスキル(職業遂行スキル)は、就労してから、各職場で必要なスキルを学んでいくこととなりますが、ソフトスキルは、就労の前提として身につけておくべきスキルであって、家庭に負うところも大きいのではないかと思います。

もちろん学校でも、シャツとズボンの中に入れるとか、上靴のかかとをふまないで靴をはくとかといった身だしなみに関することや、休み時間が終わったり教室に戻るとか、学校内で最低限のルールを守ることや、体調が悪かったら申し出たり、友達と

の関係や先生に対するマナーなど、集団生活の中で学んでほしいことを指導されていると思いますが、一番大切なのは家庭生活です。しかも、ソフトスキルは、大きくなれば出来るというものではありません。小さい時から身につけていかなくてはいけないものなのです。

週日、東京大学の学生の就職活動に保護者が同伴するという記事がありました。が、それこそ、どんな家庭なのだろう、か、おそらくソフトスキルなんて身につけてはいないだろう、と思ったことでした。

・ 持ち物の準備は自分でできますか？

・ 上靴は自分で洗えますか？

・ 洗たく物は、自分でハンカチやティッシュを別にして洗濯機に入れられますか？

・ 洗たく物は、自分で片づけてタンスに入れられますか？

・ 入浴の時、自分で体や髪を洗えますか？

・ 家事の手伝いができますか？

(配膳、調理、後片づけ、そうじ等々)

・ あいさつはできますか？「ありがとう」や「ごめんなさい」が言えますか？

・ 失敗した時にも報告できますか？

・ 文章表現ができますか？

・ 外へ遊びに行っても、約束した時間に帰れますか？

・ 一人で留守番ができますか？ 伝言ができますか？

・ 欲しい物があると、いつまでも買わずに泣きつづけるということはないですか？

・ お小遣いをもらったり、すぐに全部使ってしまうことはいですか？

・ 遅刻の報告は自分でできますか？ (中学生)

・ 電車やバスなどの公共の交通機関を使って、切符を買ったり、並んで乗車したりできますか？ 空席がなくても騒がずに乗っていられますか？

思いつくままに書いてみました。いかがでしょうか？

子どもとの関係の中で寄り添い、共感、受容といったことの大切さや、福祉サービスでは「本人の意思決定」の大切さがうたわれています。でも、それは、何でも本人の好き勝手にすれば良いのだということではありません。どんな人でも、自分の思い通りに好き勝手に生きていくことはできません。「したいけれど、今はできない」「らが欲しいけどがまんしなくては……」ということは多々あると思います。

「うちの子は大丈夫。余暇利用だって、ゲームをしていれば落ちついて一人でいられるから……」と思っっているお母さん。実は、

今やっていることを止められる力があるのかどうか、気持ちの切りかえができるかどうか、ソフトスキルです。そして何よりも、「家庭のルール」があるかどうか、とても大きな問題なのです。

今、一度、家庭生活を見直してみませんか？

勉強も大切ですが、将来の自立のために、家族の一員としての自覚をもたせることも、大切なではありませんか？

不器用さについて

学会の発表の中に、幼児期の不器用さについての話がありました。不器用さが、思春期の精神的なもの、不安や自尊感情の低下ということにも関係しているという報告がありました。生まれつきの不器用さということも、もちろんありますが経験のなさも否定できません。面倒がらずに一緒にやってみることも良いのではないだろうか？ 先生方も気づかれたり、「家でこんなことをしてみたら？」と、是非アドバイスをお願いします。

お知らせ

十一月親の会は、十三日(月)九時三十分
奥の細道記念館です。

